

平成29年度第2回 名張市地域公共交通会議 連携協議会 議事概要

日時 平成30年1月24日（水）

午後1時30分より

場所 名張市役所 庁議室

出席者：（敬称略）

（1）委員

室谷 芳彦 （美旗地域コミュニティバス運営審議会 会長）
深山 桂右 （深山運送有限会社 名張エフバス営業所 所長）
村山 勝司 （薦原コミュニティバス運営委員会 会長）
滝川 晋 （代理出席、ほっとバス錦運営審議会）
前川 尚三 （緑が丘コミュニティバス運営協議会 会長）
山寄 和明 （国津コミュニティバスあららぎ号運行協議会 会長）
藤永 和生 （赤目まちづくり委員会コミュニティバス推進協議会）
仲 範和 （三重交通株式会社伊賀営業所 所長）
谷本 浩司 （名張市都市整備部 部長）

（2）オブザーバー

小出 和仁 （国土交通省中部運輸局三重運輸支局 主席運輸企画専門官）
中平 恭之 （近畿大学工業高等専門学校 准教授）
福田 富彦 （薦原コミュニティバス運営委員会）
島田 光夫 （美旗地域コミュニティバス運営審議会）
中川 康司 （三重交通株式会社 伊賀営業所 営業係長）
津田 大輔 （三重交通株式会社 伊賀営業所 営業係）
藤本 勝 （名張市地域公共交通会議委員）

（3）事務局

都市整備部都市計画室 4名

1. 開会

2. 議事

（1）コミュニティバスの連携の強化について

（事務局より名張市内の主要乗継拠点におけるバス発着状況一覧の資料をもとに説明）

会長 非常に大事な今まで無かった資料だと思います。これはバス会社や各協議会を含め、今後いろんな取り組みを進めていくための1つの指針になると考えますが、これを一読するだけでは乗継の状況等が見えてこないのので、一度お持ち帰りいただいていろいろと考えていただくようお願いします。現行のバスの運行時刻の変更については公共交通会議の承認が必要になりますか、それとも国土交通省へ持ち帰ってもらうものですか。

オブザーバー 運輸支局への届出は必要になります。

会長 届出だけで、会議にかける必要はないのですか。

オブザーバー 1つのバスでダイヤを2,3分調整するだけのようなものでしたら、公共交通会議での協議、承認までしていただかなくても事後届出でいいのですが、このような乗り継ぎ状況を良くしていくという趣旨で全体のダイヤ調整をするということであれば、その旨を公共交通会議で報告していただいて、その結果としてこの便とこの便が何分ずれるということであれば、それは簡単に届出をしていただければ結構です。

会 長 宿題をいただきましたので、一度持ち帰って協議いただければと思います。ナッキー号はこの状況を受けて時刻の変更について考えていますか。

事務局 すぐに変更するということは考えていないですが、ナッキー号に対する要望もあり、網形成計画にもあるようにナッキー号につきましても、再編をしていくということになっていますので、そういった中で時刻が変わってくるということは考えられます。

会 長 自分たちのバスが、どのように動いたらいいのか考えていただいたらまた次の会議にでもご報告いただきたいと思います。この会議は2か月に一回の頻度ですか。

事務局 定期的な開催という決め方はしていませんが、その程度と考えています。

会 長 また提案がございましたら、事務局の方に出していただいて、全体で作戦を練らないといけない場合は、会議を開くという手順になると思いますので、よろしくお願いします。

(2) コミュニティバスの要望について

(事務局より要望一覧の資料をもとに説明)

会 長 南百合が丘と桔梗が丘西なのですが、全くバス路線が入っていないというのと、桔梗が丘西についてはまだ住宅が増え、人口も増えている中で完全な空白地になりますので、積極的に考えていかなくてはならないと思います。今、ナッキー号の乗入れが難しいなら、ほかのコミュニティバスでも検討する必要があります。桔梗が丘西は、コモコモ号を通すということも考えられますか。南百合が丘も完全な空白地ですね。

事務局 すみません、本日要望の中身についてオブザーバーとして公共交通会議の委員さんがお見えになっておりまして、実は桔梗が丘西の自治連合会の会長さんでもありますので、桔梗が丘西のご要望について少しお話いただければと思います。

オブザーバー 資料にもありますように、私も、平成28年1月に桔梗が丘自治連合会を通じて要望書を出しています。桔梗が丘西の公共施設は子ども支援センター「かがやき」という1つしかありません。その前を通過して団地内を回っていただけたら、というのがこの要望の主旨です。ナッキー号であるべきかどうかということは私には分かりませんが、ルートを2つに分けて運行するといったことはできないのかとも考えています。桔梗が丘西は、交通空白地域であること、人口の増加、開発から20年余り経ち高齢化も進んでいることから、公共交通が必要であると考えます。また、桔梗が丘西独自にコミュニティバスを運行することや他の地区と共同でバスを運行するという話について緑が丘コミュニティバスの会長とお話したのですが、どちらもなかなか難しいと認識させていただきました。

会 長 ありがとうございます。例えば、コモコモ号がさつき台を通っていると思いますが、さつき台と桔梗が丘西で一括りにするという考え方もあるし、桔梗が丘西だけで独自に運行することも考えられると思います。また、コモコモ号はいわゆる村落を中心に運行するこ

ととして、住宅団地と2路線として考えることもできると思います。

オガバー そもそもですが、要望を出されている各地区の需要がどれくらいによって、バスなのかバスでなくていいのか、あるいはタクシーチケットの配布でいいのかというのがわからないと思います。よくあるのが、要望書が出されて検討するために地区に入ってみるとそれほど要望がない、なぜかと聞けばその地区のトップの方々だけで決めたもので全体の意向を把握していないという話がよくあります。そもそもの要望というのがどれくらいあるのかというのを決めていかないとモードを何にするのか、予算的なものはどれくらいにするのかというところは需要によって決まってくるかと思います。

会 長 アンケートを実施する必要がありますね。

オガバー アンケートでも各地区にどれくらい需要があるのか聞いてもらうのもいいですが、アンケートだと実際の需要より要望が過大になってしまうということが分かっています。

会 長 バスありきの話になってしまいますね。

オガバー はい。そのあたりの需要を何らかの方法で測った方がいいと思います。

会 長 桔梗が丘西は一部が駅に隣接していますが、離れているところはかなりの距離になります。この課題について、会長さん方で一度考えていただいて、そういうアクションを起こしていただく必要があると思います。また、現在コモコモ号が走っているさつき台と桔梗が丘西を一括りとするのも1つの考え方かと思います。

(3) 十勝バス訪問報告について

(緑が丘コミュニティバス運営協議会 会長による説明)

会 長 こういったバスの運行情報のデジタル化を積極的に取り入れられていることは、先進的な取組だと思います。この効果はかなり出ていますか。

委 員 倒産寸前の会社がここでもち返したので、効果はあると思います。とにかく何もしないと何も起こらないので、やってみないと分からないですね。

会 長 事業を進めていくうえで未知数のところに踏み込んでいくことも経営的な考え方だと思います。

委 員 社長は発想力も素晴らしい方だと感じました。

会 長 ネガティブの裏にはポジティブがあるという考え方をもっていらっしゃるのでしょうか。貴重なお話をありがとうございました。また相談に乗っていただきたいと思います。地域を巻き込んで、ちょっとしたきっかけからネットワークを作り上げていったのですね。

委 員 そうですね。バス停から目的地が1キロくらい離れている場合もあるので、今後はタクシー会社と提携も考えておられるそうです。

会 長 貴重なお話ありがとうございました。また、いろいろお話しただけたらと思います。

3. その他

- ・名張市地域コミュニティ交通運賃免除事業補助金交付について

(事務局より資料をもとに説明)

会 長 この正式書類は事務局から送っていただけますか。

事務局 はい、メールで送らせていただきます。

会 長 各協議会で申請していただき、わからないことがあれば事務局の方にお問い合わせください。しかし、資金がこの補助金に頼らないようにしないとイケません。これは永続的にあるものでしょうか。

事務局 各コミュニティバスを維持していくため、予算を確保したいと考えています。

会 長 よろしくをお願いします。

・その他

会 長 先ほどの桔梗が丘西の件について、コモコモ号がオークワ経由で運行しているので、桔梗が丘西の中に通してはいかがでしょうか。コモコモ号はオークワの前で停めるのが目的なのですか。

委 員 それ以外にも主な利用としては、木野整形外科と郵便局があります。先程のお話について、頭から否定するものではないと思いますが、薦原は2コースに分かれていまして、その中の1つは旧村地区の西田原や鶴山から桔梗が丘駅に向かうコースです。もし、このような話で進めていくとすれば、西田原と鶴山が残ってしまうと問題も出てくると思われます。こういったナッキー号への要望はいつでも受け付けているものですか。

事務局 特に募集しているものではないのですが、要望があれば各地区から随時出していただいています。

委 員 ナッキー号ですべてをカバーするというのはできないでしょうか。薦原にもぜひ乗り入れていただきたい。市の補助金が年間300万円でそれがコミュニティバスの運行地域、要望地域合わせて7、8地域、年間2、400万円ほどの予算でナッキー号を1台増やすなどはできませんか。

委 員 路線を増やすということは、事前の調査を本当に綿密にしないとイケないです。バスが通るのはうれしいと思いますが、実際運行すると乗らないということがあると思います。本当にニーズがあるのか、よく確かめてから行動すべきです。事前調査は大事で、それを軽視してお金をかけたらいいと思って運行すれば、大きな損失になります。十勝バスの社長もおっしゃっていたように、新しいことを始める際には本当のニーズをつかむことが何より大切で、それを怠ると後で苦労します。最初の1年は物珍しいので皆さん乗ると思います。2年目からどうなるかが本当の問題です。

委 員 本当のニーズをつかむという話がありましたが、桔梗が丘西地区には、「こども支援センターかがやき」という公共施設があります。かがやきを利用するのは若い子育て世代で、そこでアンケートをとりますとほとんどコミュニティバス運行に対するニーズはありません。私はお年寄りのためにコミュニティバスをお願いしている立場ですので、そういう意味ではやる意味はあるのかとも思います。ほかの地域とも合わせながら、できるものであれば一度考えていただきたいと思います。

会 長 難しいところですね。はたっこ号も当初は、空気を積んで走っていると言われていましたが、バスが目に見えると乗ってみようかと思うようになったということもあると思います。どちらが正解なのかはわかりませんが、安くできる場合はやってみてもいいと思

ます。

ワザパー はたっこ号の運賃は距離によるのですか。

会 長 はたっこ号の場合は一乗車いくらと決まっています。路線を増やすのではなく、コモコモ号やみどり号がありますので、緑が丘から桔梗が丘西を通して桔梗が丘駅に行くというの也被えられると思います。しかし緑が丘から桔梗が丘西までバスが通れる道がないのですか。

委 員 小型であれば通れますが、通すとなると全面的にルート変更をしなければなりません。現在、桔梗が丘駅の東口発着ですが、それを西口にしてもよいと思います。

会 長 そのあたりも今後の課題としていただいて、今日は非常に有意義な話し合いをいただきありがとうございました。他に事務局から何かありますか。

事務局 以前から1年の運行を終えた際に路線の自己評価をいただきたいというお話をさせていただいておりましたが、その中で利用者の方の満足度等を聞くために乗込み調査等が必要になってまいります。

会 長 では近大高専の学生さんにもお願いしないといけませんね。

ワザパー 全ての路線の全便に乗車するのは難しいと思いますので、時間が合えばということになると思います。

事務局 基本的には地域の運行協議会の皆さまも実際に乗っていただいて、利用者の生の声を聞いていただくことも大事なことだと思います。学生さんも学校がありますので、我々職員もお手伝いさせていただきますので、ご協力お願いします。

会 長 では年度が替わる前に会議を開くということですか。

事務局 はい、3月中旬ごろと考えています。そこで自己評価や乗込み調査で聞いてもらう項目等も含めて協議いただきたいと考えています。

会 長 はい、わかりました。3月中旬に会議を開催、4月には乗込み調査を実施して、自己評価のうえ全体会議に報告していくということでお願いします。それでは本日は閉会したいと思います。ありがとうございました。